

科目名	担当者
流通経済	篠田 雅彦

開講学科	必選別	単位数	履修セメスター	その他
両学科	選択	2	第3セメスター	

講義概要

<p>こんにち、わが国ではサービス業が次々と生まれ、サービス産業に従事する人は60%を超えている。企業においては、コンピュータや通信機器が発達し、様々な情報を瞬時に処理・伝達することができる。</p> <p>一般の家庭にも、新しい情報通信の流れが入り込み、工場や事務所・商店では技術革新が進み、高度な先端技術が利用され、生産活動や事務処理のオートメーション化が進んでいる。売買取引も情報技術と通信ネットワークの発展によって、電子ネットワークを使い電子商取引が行われ、電子マネー、デビットカードの普及が目される。</p> <p>このように、われわれを取り巻く環境は日々変化しており、社会全体が急速に、サービス化、情報化、ハイテク化、国際化してきた。そこで営まれる経済活動は、生産活動、流通活動、消費活動に分けられるが、これら三つの活動が相互に関連しあって、経済は成り立っている。ここでは、流通活動の担い手の立場に立って、経済社会の動きを見ていくことから始める。</p>

履修のポイント及び留意事項	流通は、われわれの生活に欠くことのできない経済活動であり、身近にある流通活動に目を向け、本当に豊かな生活を創造していくためには、どのようなことが必要かを考える。
他の授業科目との関連	将来、企業で働くとき状況を判断する常識として必要な知識。
教科書	毎時間プリントにより、授業終了時に各自のノートが完成する仕組みで授業を進める。
参考図書	日経文庫「マーケティングの基本」野口智雄著、日経文庫「流通の基本」小林隆一著

講義日程

週	テーマ	講義内容
第1週	経済活動と流通	われわれの経済活動、経済の仕組みと流通
第2週		流通の発展と役割、現代の流通
第3週	流通活動の特徴	流通の働き、商的流通と物的流通、売買、輸送、保管、金融、危険負担、情報と通信
第4週		流通機構、流通経路、流通とマーケティング活動
第5週	流通活動と企業	流通の担い手としての企業、私企業、公企業、公私合同企業
第6週		経営組織の構成、経営組織とコミュニケーション、今後の企業のあり方、流通の国際化
第7週	流通活動とビジネス	生産者と流通活動、生産者の役割と種類、生産者のビジネスとその動向
第8週		小売業者と流通活動、小売業者の役割と種類、小売業者のビジネスとその動向
第9週		卸売業者と流通活動、卸売業者の役割と種類、卸売業者のビジネスとその動向
第10週		物流業者と流通活動、物流業者の役割と種類、物流業者のビジネスとその動向
第11週		情報通信業者と流通活動、情報通信業者の役割と種類、情報通信業者のビジネスと動向
第12週	地域経済と流通活動	地域経済と地域の特性、地域経済の担い手、地域経済と流通
第13週	経済社会の進展と流通	豊かな経済生活、流通のシステム化、国際化の進展と流通
第14週	流通政策と流通経済の課題	企業の社会的責任と流通政策、流通政策の歴史と現状、流通経済の課題
第15週	定期試験	

評価方法

毎時間終了時に小テストを実施し、定期試験・課題提出・出席状況を参考に総合評価する。
